

令和6年3月6日

令和5年度修紅短期大学附属認定こども園学校関係者評価

1、学校関係者評価者

修紅短期大学附属認定こども園 PTA 会長	遠藤 祐樹 様
修紅短期大学附属認定こども園 PTA 副会長	小岩 美代子 様
〃	伊藤 恵美 様
〃	小岩 玄汰 様
修紅短期大学幼児教育学科長	鈴木 美樹子 様

以上5名

2、学校関係者評価次第

- ① 園長挨拶
- ② 運営状況報告（資料1、資料2—要覧）
- ③ 自己評価報告（資料3）
- ④ 評価者講評
- ⑤ その他

修紅短期大学附属認定こども園

(1) 令和5年度事業報告

(教育・保育の質の向上)

- ・ 市内私立園では本園のみの取り組みである園独自の公開保育を開催している。保育教諭の教育保育の質向上を目的とした公開保育であり、今年も県内各地から多くの保育教諭や一関市教育委員会の方に参加いただき開催することができた。公開保育に向けた取り組みは、月に2回程度の園内研修の際に、昨年から引き続きの研究として、「愛されて育つ子供」～いのちの大切さを実践事例から学ぶ保育～というテーマに沿って行った。本園の公開保育は、教職員においては主催者側であることから、多くのエネルギーを使うことになるが、教職員の質の向上に大きく作用し、本園の教育保育の質の向上につながっている。

(運営)

- ・ 少子化が進む現状の中、本園でも定員を大きく下回る園児数となった。今後も少子化は進む傾向が続くと思われる。経営の安定を図り、子供達の教育環境の質を落とすことなく運営を継続させるためには、園児数確保が重要である。今年度は初の一般公開を行った。本園に興味をもって頂くことを目的として開催した。こども園での子供達の様子や指導の内容について少し掘り下げて伝える場とした。未就園の子供をもつ保護者を中心に参加いただき、来年度の園児募集にも影響を与えた。
- ・ コロナ禍を経て、昨年5月に5類移行により、これまでの様々な制限が緩和されたことで、コロナ以前の行事の取り組みに少しずつ戻りつつある。また、インターネットの活用もし、動画の配信等にも力を入れ、情報提供に取り組んできた。今後も YouTube 配信等の取り組みは継続していく。

(2) 令和5年度定員充足率 定員 240名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
実員	186	188	189	190	190	190	191	192	192	193	194	193	191人
充足率	78	78	79	79	79	79	80	80	80	90	81	80	80%

(3) こども園運営について行政からの指導、指摘事項について・・・無し

(4) 新型コロナ感染症に係る感染予防策

- ・ 感染予防…来園者の体温測定、園舎内の消毒、手洗いの徹底等
- ※5類移行後も感染状況を見ながら臨機応変に対応を行う。

(5) 安全対策関係報告（保険対応）

- ・ 10月 右上腕骨骨折 4歳児 園庭・ジャングラミングより落下
- ・ 11月 頭部裂創・創傷感染症 1歳児 保育室にて転倒 ロッカーに頭部ぶつける
- ・ 11月 左足関節捻挫 5歳児 保育室にて大型ブロックから落下

以上3件

①令和4年度自己評価結果

資料3

【本園の教育・保育目標】

「にこにこ ぴんぴん みんな なかよく なにかで ひとより」

【令和4年度 重点的に取り組む目標】

○教育課程の充実

幼児一人一人の実態や生活に即した環境の工夫や見直し

○保護者への情報提供

園だより・学年だより・クラスだよりの発行や個人記録、連絡帳による保護者への情報提供

【令和4年度重点的に取り組んだ具体的項目とその設定理由】

A 幼児一人一人の実態や生活に即した環境の工夫や見直し

〔step1〕 幼児理解につながる記録の工夫

*環境の工夫や見直し

- ・子どもの特徴を捉えてかかわり、遊びや生活の様子を記録する。
- ・活動時の様子やエピソードをメモし、個人記録記入の際に一人ひとりの様子を振り返る。
- ・写真を見ながら場面の読み取りをし、記録に残す。
- ・一人ひとりの成長過程に合わせながら、個人指導計画や月案、日週案を作成する。

〔step2〕 各自で工夫

*環境の工夫や見直し

- ・子どもが興味を示している遊びを考え、必要な材料などを準備する。
- ・すきな遊びや活動ができるような教材準備や活動内容を考える。
- ・送迎の際にその日の様子等を口頭で伝える。
- ・保育室に子ども達の写真やコメントエピソードを添えた物を掲示する。

〔step3〕 各学年で工夫

*環境の工夫や見直し

- ・年齢に応じた制作、活動内容を考える。
- ・送迎の際にその日の様子等を口頭で詳しく伝える。
- ・子どもが興味を示している遊びをよく観察し、必要な材料などを準備する。
- ・一人ひとりの成長やクラスの様子を、職員間で話し合い、情報共有をする。

〔step4〕園全体で工夫

*環境の工夫や見直し

- ・園内研修を通して、子どもの様子について意見交換を行い、子ども理解を深める。
- ・毎月の安全点検の実施、危険箇所を把握し、安全に過ごすことができるような環境を意識する。
- ・ヒヤリハット表を利用して、園舎内外の危険箇所を把握し、職員で共通理解をする。
- ・感染状況を見ながら、園行事の見直しや取り組みの工夫をする。

B 園だより・学年だより・クラスだよりの発行や個人記録・連絡帳による保護者への情報提供

〔step 1〕情報提供に向けた成長の記録の工夫

*園だより・学年だより・クラスだよりの発行

- ・個々の活動や生活の様子を記録する。
- ・職員間で情報交換をし、保護者へ詳しく伝えるようにする。

*個人記録・連絡帳による保護者への情報提供

- ・副担任と一日の子ども達の様子を伝え合い、具体的な内容を記録する。
- ・YouTubeでの動画配信で、園での姿を伝える。

〔step2〕クラス全体の様子を伝える工夫

*園だより・学年だより・クラスだよりの発行

- ・おたよりは、月1回の発行を行い行事のねらいや目的を伝える。
- ・クラスだよりで遊びや生活、行事や制作等への取り組みの様子を、写真に文章を添え伝える。

* 個人記録・連絡帳による保護者への情報提供

- ・写真に文章やコメントを加え、様子をわかりやすく記載する。
- ・YouTubeでの動画配信で、園での姿を伝える。

〔step3〕 お便り等の発行を通して、保護者へ伝える工夫

* 園だより・学年だより・クラスだよりの発行

- ・写真を掲載し、場面の状況がイメージしやすいようにする。
- ・おたより作成時には、写真を使うだけではなく、見やすさやレイアウトを考えて作成する。

* 個人記録・連絡帳による保護者への情報提供

- ・連絡帳や口頭で子どもの様子や成長している所をわかりやすく伝える工夫をする。
- ・にこぴん記録のエピソードに保育教諭の願いや思いなどを記載する。

〔step4〕 一人一人の成長の様子や園生活の様子をそれぞれ十分に伝える工夫

* 園だより・学年だより・クラスだよりの発行

- ・子どもの様子を、職員間で情報交換する。
- ・具体的な内容を伝えることができるよう、子どもの様子や姿をよく観察する。

* 個人記録・連絡帳による保護者への情報提供

- ・毎月の様子や成長の姿をにこぴん記録に記載する。個人記録として保護者へ伝える。
- ・家庭での様子も聞くようにし、情報共有を心掛ける。

令和4年度 自己評価シート まとめ

【令和4年度重点的に取り組んだ項目とその評価結果】

A 幼児一人一人の実態や生活に即した環境の工夫や見直し

〔step1〕 幼児理解につながる記録の工夫

◎具体的項目

- ・連絡帳や電話、送迎時に子どもの様子を保護者に伝え、連携をとる。
- ・写真や、記録から個々の成長や友達とのかかわり等を読み取る。
- ・遊びや生活の様子を振り返り、子どもの内面気持ちや思いを読み取る。

◎評価結果

- ・保護者に園での様子を詳しく伝えることができるように、一人ひとりをしっかり観察できた。
- ・記録をとる事で場面の読み取りが深まり、遊びのきっかけづくりや日々のかかわり方を考えることができた。
- ・写真や動画を見て、子どもの様子をより理解することができた。

〔step2〕 各自で工夫

◎具体的項目

- ・興味のある遊びや教材を準備し、のびのびと遊ぶことができる環境づくりをする。
- ・保育教諭も物的環境の一部であることを常に意識して保育を行う。
- ・ポスターやイラストなど、視覚からもわかるような物を準備し、活動がスムーズにできるよう工夫する。

◎評価結果

- ・子どもの興味に合わせた教材を準備したことで、それぞれが好きな遊びを楽しむ環境をつくることができた。
- ・副担任と情報共有を欠かさずに行い、安心して過ごせるようなかかわりや環境づくりができた。
- ・視覚からもわかるような教材を使用して、行事や活動等、分かりやすく説明することができた。

〔step3〕 各学年で工夫

◎具体的項目

- ・日々の活動内容や行事にむけての準備などを計画的に進める工夫をする。
- ・楽しく活動や遊びができる場所や空間を作ることができるように、保育室の整理整頓を心がける。
- ・年齢に応じた制作や教材選び、発達段階に合わせた援助や活動の内容を考える。

◎評価結果

- ・職員間で情報共有をし、子ども達の様子に合わせてながら指導計画を立てることができた。
- ・保育室の整理整頓をしながら、子ども達が楽しめる空間づくりが出来た。
- ・職員間で教材研究をし、年齢に応じた技法などを使って制作や活動を進めることができた。

〔step4〕 園全体で工夫

◎具体的項目

- ・園内研修を通して、子どもの様子を情報共有し、子ども理解に努める。
- ・毎月の安全点検の実施、室内外の危険箇所の把握をし、改善が必要なところを確認する。
- ・保育室内の換気や消毒を実施し、安心して過ごせるような環境を整える。

◎評価結果

- ・他の職員から意見をもらうことで、新たな気づきやがあり、自分の保育を見直すきっかけとなった。
- ・安全点検をすることで、危険箇所を把握し、子ども達が安心安全に遊ぶことができる環境づくりをすることができた。
- ・安全に遊ぶことができるよう、職員間で、園庭、遊戯室、保育室などの職員配置について話し合いながら保育を行った。

B 園だより・学年だより・クラスだよりの発行や個人記録・連絡帳による保護者への情報提供

〔step1〕 情報提供に向けた成長の記録の工夫

◎具体的項目

- ・様々な視点から見て、成長した部分やのびたところ等の記録をとる。
- ・メモや写真を取り、子どもの様子の振り返りができるようにする。
- ・職員間で情報交換をし、園での様子を詳しく保護者に伝えるようにする。

◎評価結果

- ・記録の作成を通し、個々の成長を感じることができた。
- ・こどもの様子について、職員と意見交換を行うことで、様々な視点で捉える事の大切さに気づき、幼児理解につながった。
- ・連絡帳や口頭で子どもの園での様子や頑張りを伝えることができた。

〔step2〕 クラス全体の様子を伝える工夫

◎具体的項目

- ・クラスだよりに子ども達の遊びの様子や行事への取り組み等の様子を伝える。
- ・YouTube 動画配信で、日々の様子を伝える。
- ・個人記録や連絡帳にはわかりやすい文章や言葉を使って記入する。
- ・子ども達の様子を写真にコメントをつけて、保育室に掲示する。
- ・送迎時に子ども達の様子を具体的に伝える。

◎評価結果

- ・クラス全体の行事の取り組みの様子等、文章だけではなく写真を使うことで様子が良く伝わったと思う。
- ・YouTube 動画配信により、おたよりでは伝えきれない部分の子ども達の日常の姿を伝えることが出来た。
- ・連絡帳やクラスだより等は、より伝わりやすい文章を書くことを意識した。
- ・おたよりでは伝えきれない部分を、送迎時に保護者に伝えることができた。

〔step3〕 お便り等の発行を通して、保護者へ伝える工夫

◎具体的項目

- ・学年で行う行事、活動内容、準備物など、おたよりに分かりやすく記入する。
- ・成長の様子や発達過程を知らせる。
- ・文字の大きさやレイアウトを考え、わかりやすいおたよりを作成する。

◎評価結果

- ・見やすさや文章表現、文字の大きさ等を考え工夫しながらおたより作成が出来た。
- ・送迎時やおたよりを通して子ども達の様子を伝えることが出来た。
- ・写真にその時の担任との情報交換に努め、保育にも活かし、保護者にも丁寧に伝えられた。
- ・クラスだよりの発行部数を増やしたかったが実行できなかった。

〔step4〕 一人一人の成長の様子や園生活の様子をそれぞれ十分に伝える工夫

◎具体的項目

- ・個人記録に写真を使用し、子どものつぶやきやエピソード等、その時の様子を詳しく記入する。
- ・保護者とのコミュニケーションを図る。
- ・個人記録や連絡帳にはできるだけ具体的な内容を伝える工夫をする。

◎評価結果

- ・園でしか見られないような姿や保護者が知りたいと思うことを考えながら、わかりやすく伝えるように心掛けた。
- ・保護者とのコミュニケーションを大切にしながら、成長している事などを送迎時に伝えることができた。
- ・YouTubeでの動画配信を活用し、普段の子ども達の様子を見てもらうことができた。

令和5年度修紅短期大学附属認定こども園学校関係者評価結果

○評価者 1

時代に合ったやり方で教育をされていて良い。

○評価者 2

全体的に園の教育目標にそって先生方が色々考えながら子供達や保護者との関わり方を大切にしていることがよく伝わった。

○評価者 3

5類移行により、再会できた行事も増えて更に考え直す点も多かったと思う。感染予防対策等工夫して子供達や親も楽しんで園生活を送ることができた。

園児数が減少傾向にあるとはいえ、他の園に比べると大所帯であるが、休みなどの連絡をしてもきちんと他の先生にも情報が行き渡っているそのような連携も取れているようで、安心して通園させることができた。

○評価者 4

公開保育や研修など、学びの機会がありとても良い。

先生方一人ひとりが教育に一生懸命取り組んでいる姿は尊敬する。

園の環境がのびのびとしている。

教育目標の「にこにこ ぴんぴん みんななかよくなにかでひとより」を実践し明るい園を維持してほしい。

○評価者 5

園で取り組んできた行事、その他改善、提案など詳しく表記されていてわかりやすく良い。今後も続けてほしい。